

2016年 昭和南海地震から70年 過去に学び、未来を守る 防災メモリアルイヤー

毎月1点検運動

6月テーマ

『土砂災害・水害』



6月は「土砂災害防止月間」です。台風や集中豪雨が多発する夏場に備え、自治体や防災関係機関では山地や河川の危険箇所の点検を行っています。

住民の皆様もハザードマップなどで、土砂災害や洪水・浸水被害の危険箇所を確認しておきましょう。

「土砂災害」や「水害」から身を守るため、家族や周囲のみんなでチェックしましょう。



▼ 家のまわりの危険な場所をチェック！

- 住んでいる地域のハザードマップが、すぐ取り出せる場所にある。
 - ハザードマップで、家の近くに土砂災害警戒区域・特別警戒区域、重要水防区域(*)、土砂災害危険箇所がないか確かめた。
- ↓
- 【警戒区域や危険箇所などの確認方法】
- 県のホームページ(<http://maps.pref.tokushima.jp/>)、または、お住まいの市町村役場や県総合県民局県土整備部、県東部県土整備局にお問い合わせください。
- ハザードマップで調べた家の近くの危険箇所を、実際に見て確認した。
 - その地域で、過去に大きな土砂災害・水害(*)がなかったか、近所のお年寄りなどに聞いてみた。または、図書館や資料館、市町村役場などで調べた。



避難所と家族の連絡先をチェック！



- ハザードマップで、家の近くの避難所がどこにあるか確認した。
- 家族で避難所まで歩いて行って、場所や道順、移動時間(*)、途中に雨が降ると危ない場所がないか確認した。
- 避難所まで歩いて行けない場合、逃げこむ建物を決めた。
- 外に避難することができないときに、家の中(2階以上のがけから遠い部屋)のどこにいるか決めた。
- 家族が離ればなれになったときの連絡先を決めた。
- 避難場所や連絡先を、家族みんなが知っている。また、電話番号を書いたメモをみんなが持っている。

▼ 非常持ち出し品をチェック！

- 非常持ち出し品として何を準備しておくか、家族で話し合っただめた。
- 非常持ち出し品を、すぐに持ち出せる場所に用意した。
- 非常持ち出し品の、何をだれが持ち出すか、家族で分担を決めた。



災害情報を正しくチェック！



- 雨量・水位(*)情報や災害情報を提供するインターネットサイトのアドレスを家のパソコンや携帯電話に登録した。

下記URLから「雨量・水位データ」が閲覧できます。

⇒ 徳島県 県土防災 情報管理システム

<http://www1.road.pref.tokushima.jp/index.html>



- 大雨注意報・大雨警報・大雨特別警報・洪水警報(*)や土砂災害警戒情報の意味を知っている。
- 避難準備情報・避難勧告・避難指示の違いを知っている。
- 土砂災害の前ぶれにはどのようなものがあるか知っている。



【資料提供】NPO法人 土砂災害防止広報センター [(*)は、徳島県が文言を追加した箇所]

☆点検で気づいたこと、うまくいった事例やアイデアなど、皆様からのご意見を募集します。優秀なご意見には、お楽しみも・・・。

☆詳しくは県のHP「安心とくしま」をご覧ください。
⇒ 安心とくしま <http://anshin.pref.tokushima.jp/>

とくしま災時記(6月編)

1979(昭54)年 6/27~30 梅雨前線による大雨

1949(昭24)年 6/21 台風2号(死者・行方不明者10名)

1361年 6/24 正平地震(南海地震)

※日本最古の津波碑「康暦の碑」(美波町)で記録が残る